



台風 21 号関連 記者会見要旨 (2018 年 9 月 8 日)

関西エアポート株式会社 代表取締役社長 CEO 山谷佳之と代表取締役副社長 CoCEO エマヌエル・ムノントは本日 15 時に記者会見を行い、以下を発表しました。

記

【航空便】

- 本日、第 2 ターミナルビルで 55 便を運航いただいている。
- 出発・到着 合わせて、Peach 43 便、JAL2 便、ANA 2 便 旅客便 計 47 便。
- 出発・到着 合わせて、FedEx 貨物便 計 8 便。

【アクセス】

- 昨日 7 日空港連絡橋において、車両の対面通行ができるようになった。片側通行が解消し、渋滞は緩和される見込み。
- 鉄道も JR・南海電鉄とも、「りんくうタウン駅」まで営業再開している。
- 臨時シャトルバスも、本日より「りんくうタウン駅」から朝 6 時から夜 24 時まで運行している。
- バス会社によるリムジンバスも、現在 16 路線が運行されている。
- 神戸ベイシャトルは、7 日から通常運航に戻っている。
- 空港内駐車場に駐車いただいているお車の出庫が 7 日から 10 時～16 時の間、可能になりました。詳細はこちら→ <https://www.kansai-airport.or.jp/notices/2632>

【第 1 ターミナルビル】

- 第 1 ターミナルビルの部分的再開は 1 週間以内の見込み。
- 被害の少ない南側の作業を進めている。地下部分はほぼ排水が完了している。

【A 滑走路】

- A 滑走路はポンプ車を使った排水を行っている。
- パイロットの目視により離着陸することは可能な状態。

【貨物地区】

- 貨物地区は被害が大きく、状況確認を終え、今朝から補修を開始。
- FedEx の貨物便が、B 滑走路を使い、本日再開したのは大変喜ばしい。

【ライフライン】

- ガスと温熱・冷熱は昨日 7 日に復旧した。
- 関西空港では空港内でごみの処理を行っているが、昨日焼却炉の正常稼働を確認。
- これらにより、空港内のホテル日航関西空港も通常営業へ移行中。

※本日、大阪国際（伊丹）空港において、通常の 370 発着便に加え、臨時便が発着しました。

出発便（7 便）：ANA 3 便、JAL4 便

到着便（9 便）：ANA4 便、JAL5 便 合計 16 便

以上



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: <http://www.kansai-airports.co.jp/> をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス40%、 ヴァンシ・エアポート40%、 その他の出資者20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界38カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、36空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス、ポルトガル（リスボンのハブ空港含む）、カンボジア、日本、ドミニカ共和国、チリ、そしてブラジルの空港には、合計で200社を超える航空会社が就航し、2017年の旅客者数は1億5,660万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとして、1万2,000人のスタッフの専門知識と経験を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして既存空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設を行っています。

2017年の連結売上高は14億ユーロ、グループ全体の売上高は32億ユーロ（関連会社含む）に達しました。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構